

*水俣病とは、化学工場から排出されたメチル水銀を魚介類が吸収し、これを食べた住民の間に発生した中毒性の神経疾患。主に脳など神経系を侵し、手足のしびれ、ふるえ、脱力、耳鳴り、目に見える範囲が狭くなる、耳が聞こえにくい、言葉がはっきりしないなど様々な症状を引き起こす。

(注)「伊藤氏」は伊藤信太郎環境大臣

左の記事を読んで下の問いに答えましょう。

1 発言を遮り、マイクの音を切る以外で、傍線部①「慇懃無礼」な態度を、下の段の記事から1文で抜き出し、最初の3文字を書きましょう。

--	--	--

2 傍線部②とはどんなものですか。上の段の記事から10字以内で抜き出しましょう。

3 水俣病が公式に確認されたのは何年か答えましょう。

年

調平正

① 慇懃無礼を手元の辞書はこう解説している。「いんぎん・ぶれい うわべは丁寧だが、じつは相手を見下していること(さま)」。この四字熟語がこれほど当てはまる例をみた記憶はあまりない◆いや、慇懃無礼に失敗して化けの皮がはがれたとみるべきか。水俣病の患者らと環境大臣の懇談会で、積年の思いをぶつける82歳男性のマイクの音を環境省の職員が突然切った。「約束の3分が過ぎた」からと◆西日本新聞の記事によると、訴えていた男性はこの日に向け何度も原稿を練り、ふりがなもふって3分で収められるよう練習を重ねていた。物腰の低い司会の声とは裏腹の態度に環境省の本音があぶり出された◆この懇談会の直前、水俣病の公式確認から68年の式典で小6の男子が祈りの言葉を述べている。「悔しい思いをしながらも差別に立ち向かい、精いっぱい生きた姿はかっこよかった。そんな大人になりたい」◆語り部から苦難の日々を学び、水俣に誇りを持ったそうだ。公害の原点と呼ばれる水俣病は半世紀以上がたつ今も終わっていない。国を相手にした訴訟の原告は全国で1700人を超える。ほとんどが高齢者だ◆きのう、環境大臣が熊本まで出向き、会の出席者に謝罪した。その姿は少年の目にどう映ったか。 2024.5.9

「時間なのでまとめてください」。1日、熊本県水俣市で開かれた懇談の場で環境省職員は団体側の発言を遮った。

■釈明繰り返し

語っていたのは水俣病患者連合の松崎重光副会長(82)。妻が昨春「痛いよ痛いよ」と言いながら亡くなったことを切々と話していたが、持ち時間の3分を超えたとしてマイクの音が切られた。他にも同様の対応を受けた団体があった。

団体側はその場で対応に疑問を呈したが、環境省側は「不手際だった」と釈明を繰り返した。注 伊藤氏も「マイクを切ったことを認識しております」。会場からは「認識できたでしょ」と声が上がった。

NIEワークシートのこたえ（2024年5月10日公開）

◆ワークシート「水俣病患者のマイク切る(社会SDGs3,16)」

2024.5.8 付 朝刊 社会 21面

2024.5.9 付 朝刊 1面 正平調 解答

- 1 団体側
- 2 相手を見下している
- 3 1956年